

公共交通が大変!? 乗って守ろう公共交通!



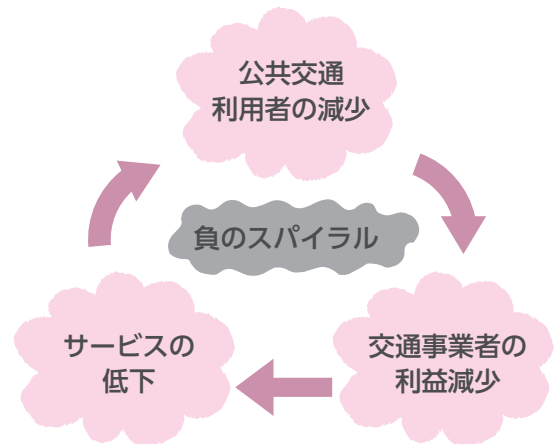
問/まちづくり推進課 ☎463-1514

公共交通の現状

市内には、鉄道をはじめ、バス、タクシー、シェアサイクルなどさまざまな交通手段があり、これらはわたしたちが暮らすためには欠かせない生活の一部です。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、公共交通の利用者は約30%減の状況が長く続いており、それに伴い運賃収入も大幅な減少となり、会社の経営も厳しい状況に立たされるなど、いまや公共交通は「あることが当たり前」ではなくなってきています。

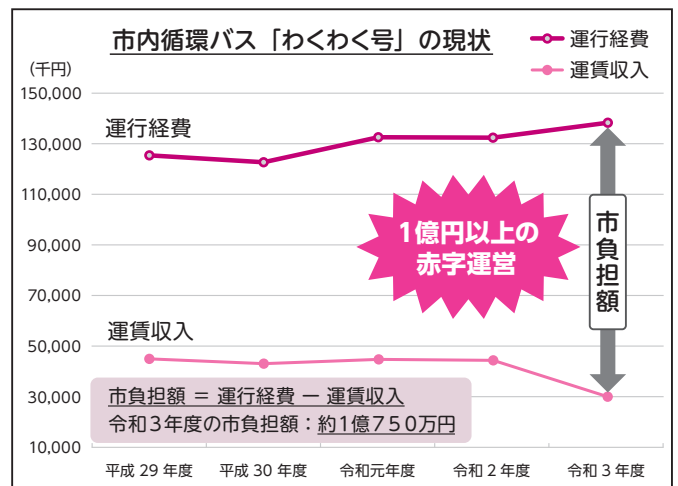
運賃収入が減った場合、経費を少しでも減らすために、運行本数を減らすなどの対応をせざるを得なくなり、結果としてサービスの低下が引き起こされ、最悪の場合、路線自体が撤退してしまうこともあります。



市内循環バスの利用状況と採算性

朝霞市では、路線バスを補完する、市内循環バス「わくわく号」を運行し、朝霞駅や北朝霞駅をはじめ、市役所や図書館、公民館などの公共施設等を経由し、市内における移動の利便性向上に努めています。

しかしながら、わくわく号は右図のとおり、採算性が厳しく、さらに、新型コロナウイルスの影響により利用者が大きく減少し、令和3年度の市の負担額はなんと1億円以上にも及んでおり、今後の回復も見込めない状況にあります。



公共交通のメリット

環境に優しい

人を1km輸送するために必要となる二酸化炭素の排出量は、バスであれば自動車の2分の1以下、鉄道であれば8分の1以下にもなるといわれています。

健康の増進

公共交通を利用すると駅やバス停まで歩いたり、乗り換え時に階段を昇り降りしたり、運動量が増えて健康増進につながります。

計画的に行動できる

公共交通は定時定路線で運行するものが多く、あらかじめ決められた時間に運行するため、予定を立てやすく、計画的に行動することができます。

事故リスクを回避

鉄道での死亡事故の確率は、自動車よりも格段に低いとされています。公共交通を利用することで、より安全に移動することができます。

公共交通を使うことが一番の支援!

普段、公共交通を利用しないという方も、将来的に公共交通を必要とする時が来るかもしれません。

目的地や日によって公共交通を使い分けるなど、積極的に公共交通を利用して、みんなで未来につなげていきましょう!